



# 碓東小通信 培根



宍中市立碓東小学校

令和6年11月18日

NO.12

文責：ホロ

日本の大人の読書率はどんどん下がっているという記事を読みました。忙しさに加えスマホからの情報が手軽に手に入ること、自分に関係ないことから距離をおきたいという現代人特有の心理のせいらしいです。

ある人は、好奇心が勇気を引き起こすのだと語っていました。未知のことへの好奇心こそが新しい扉を開ける勇気につながるのだと。未知のことは誰にとっても恐怖であるけれど、その未知のことと安全かつ気軽に遭遇できるのが読書であると語っていました。読書をすれば人は本の中で様々な疑似体験ができるので、その体験を通して、「これなら自分も挑戦できるかも」と新しい扉を開ける人が出てくるのだそうです。また、現実の生活の中では知ることでもできなかった世界に出会い、それをきっかけに楽しみを増やしていく人もいるからだそうです。

そういえば自分は、三浦しおんさんの『風が強く吹いている』を読んでから、箱根駅伝のファンになりました。楽しみが一つ増えたわけです。

今、学校の玄関と職員室のちょうど中間あたりに職員からのおすすめ本の掲示がされています。見ていると、ちゃんとそれを読んでいる子もいて、大人が読書への向かい方を示すことって大切なんだと思います。

保護者の皆様をはじめ、子供たちを支えてくださっている大人の皆様はどんな読書をしていらっしゃるでしょうか？読書の秋、子供たちとの話題にしていだければと思います。

## バスケットボール講習会

11月12日に、プロバスケットチームであるMINAKAMI TOWN EXEから5人の講師が来校し、4年生以上の子供たちに講演や実技指導をしてくださいました。

このメンバーの一人である坂東秀梧さんは平成25年の本校卒業生であり、子供たちに向けて「夢をかなえること」をテーマにお話をしてくださいました。

坂東さんのお話のキーワードは、「挑戦」と「あきらめないこと」でした。小学生の時にたくさんの挑戦をしてほしい、そして「あきらめる」行為は人間の最大の弱点なのだと、自分のバスケットボールを通じての経験を交えながら、穏やかに、でも力強く話してくださいました。

私も一緒に聞きながら、特に子供たちに届いてほしいなあと思ったのは、「挑戦すると、いろいろな経験ができます。経験をたくさん積むことで人は成長し、いつか夢がかなっていきます」という坂東さんの言葉です。また、「人生は思い通りに行くことばかりでない。でも、だからこそ楽しいのだ」という最後の言葉も印象に残りました。

今年大学を卒業し、今まさに「プロバスケットボールの選手になりたい」という夢を叶えた坂東さんの語りは、私の心にも新鮮な言葉として刺さりました。夢は時とともに変わっていくものですが、もう少して還暦を迎えようとしている自分もまだまだ夢を語ってよいのかもしれないと元気づけられました。

お話の後で子供たちの質問が続き、その回答の中で「バスケットをやめたいと思ったこともあるけれど、応援してくださる人や自分を支えてくれている両親への感謝の気持ちが自分を奮い立たせ、あきらめずに続けようと努力し、今がある」とおっしゃっていました。やはり、「感謝」の気持ちは人々に気づきを促し、強さを与えてくれるのだと思いました。



## 感動！安中市小学校音楽発表会

10月31日、安中市文化センターで安中市中の小学校が勢ぞろいし、音楽発表会が行われました。コロナ禍の中で、昨年度まではオンラインでの発表会でしたが、今年度は互いの生の演奏を聴き合いました。

本校からは5年生の全児童が出演し、プログラムの最後を飾りました。田村先生指揮、小山莉緒さん伴奏で、『明日の空へ』という合唱曲を披露しました。

子供たちの演奏は、技能だけでなく、その表情から感じ取れる一人一人の思いが観客の感動を呼び起こします。どの学校もそれぞれ心揺さぶる演奏をしてくださいましたが、碓東小の子のまっすぐな思いを感じさせる伸びやかな歌声も会場全体を間違いなく感動させていました。

出演前に「あ～緊張する・・・」とつぶやいていた様子も印象的でした。こういう緊張をいくつも越えながら、子供たちの心は大きく深くなっていくのだなと思いました。

5年生のみなさん！すばらしい歌を本当にありがとう！



## 頑張った持久走大会

11月6日に校内持久走記録会がありました。安全確保のためにお手伝いいただきました保護者や地域の皆様、応援に駆けつけてくださった方々に心より感謝申し上げます。

開会式で「持久走は苦しいかも知れないけど、走ることは体だけでなく心の健康にも良いのですよ」と話したら、大会後の日記で「なんで持久走大会なんてやるのかと思っていただけ、健康に良いとは初めて知りました」と書いてくれた子がいました。ちゃんと私の話を受けとめ、一生懸命走ってくれたのだと嬉しく思いました。

子供たちはそれぞれの思いをもって走ったと思います。そして、どんな順位の子も走っているときはとても苦しかったに違いありません。でも、ゴールした後の達成感は、一生懸命走ったからこそ得られる快感です。音楽発表会と同じように、子供たちは苦しさや困難を一つ一つ乗り越えるからこそ健全な大人に育っていくのだと思います。

みんな、本当によくがんばりました！走り切った人は全員かっこいいです！

## 表彰および碓東小児童の活躍



個人情報なので掲載を控えます